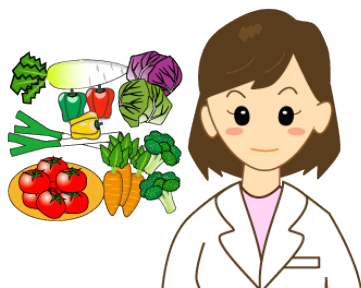


領域: 栄養治療部

医療シーズ; 食事・点滴の摂取カロリー分かる装置



フリーメディカルイラスト図鑑の画像を使用

医療シーズ提案部門
滋賀医科大学 附属病院 栄養治療部

「摂取カロリー計算を楽にしたい」

■ 栄養治療部ホームページ

http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/department/central_clinic/nutrition/index.html

■ ニーズの背景

- ・医療現場では、栄養管理も治療の一環として大切である。例えば、糖尿病を抱えた患者のカロリーコントロール、高度の栄養不良や治療により栄養状態が悪化する可能性のある患者の栄養状態の把握など挙げられる。
- ・提供される食事や点滴の総のカロリーは既知であり、摂取したカロリーを把握したい、残量のカロリーを測定する方法が求められる。

■ 現在の対応方法

- ・点滴では、残量から提供時の既知のカロリーを参照して算出。
- ・食事については、摂取重量を計測し、提供総カロリーをもとに概算。

■ 使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- ・病院で栄養管理は必須である。正確な測定が可能であるなら、導入を求める医療機関は全国におよぶと考えられる。
- 【医療機関数: 約18万院(医療施設動態調査平成30年2月末概数: 厚生労働省HP)】

【イメージ・参考例】現状

- ・患者さんの自己申告から推定
- ・写真で記録を取り、栄養士が推定 など



- ・客観性に乏しい
- ・記録に労力がかかる

機能アイデア例

- ・提供時のカロリーと残量の写真から自動的に摂取カロリーが推定できる機能
- ・さらには、蛋白質、脂質、炭水化物などの栄養素が推定できる機能

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp